

「営業外費用、特別損失の計上」 「業績予想の修正」

2017年2月9日

千代田化工建設株式会社

「営業外費用、特別損失の計上」「業績予想の修正」

(1) 営業外費用、特別損失の計上

営業外費用 : 130億円 ECS社への出資
特別損失 : 238億円 ECS社への融資、遂行中プロジェクト関連リスク等

(2) 業績予想の修正

(単位:億円)

	期首予想	今回修正	増減
完工高	5,500	6,100	600
営業利益	180	180	0
経常利益	140	0	△140
当期純利益	50	△360	△410

1株あたり 年間配当予定	6円	6円
-----------------	----	----

経緯と原因・当社の対応

(1) オフショア・アップストリーム(O&U)分野への進出

- 13年7月 : 英国 XODUS社へ資本参加
- 16年3月 : EMAS CHIYODA Subsea社へ資本参加
- 現在 : EZRA Holdings、千代田、日本郵船の3社による運営

(2) EMAS CHIYODA Subsea社の経営

- 16年4月以降 : 経営管理体制を再構築。当社から人員派遣
- 16年11月半~: 2017年、2018年の事業計画策定。サブシー市場回復の遅れ等による資金繰り逼迫

(3) 損失の原因

- 原油価格の低迷によるサブシー分野への投資の抑制
- 既設へのつなぎ込み案件への大手参入による想定以上の厳しい競争環境

(4) O&U分野の今後

- EMAS CHIYODA Subsea社は抜本的な再建を模索中。まずは遂行中案件の完成を目指す。
- 有望分野という認識は変わらず。事業環境の変化に注目しつつ対応する。

今後の経営について(1/2)

当社の強み

当社の根幹であるエンジニアリング力、プロジェクト遂行力を発展

- －不採算案件は今期既に引渡し済み、又は近々引き渡し
- －完工総利益、営業利益は期首予想維持の見込み

＜参考＞ECS損失を除いた業績予想

(単位:億円)

	期首予想	ECS損失除く 今回業績予想	増減
完工高	5,500	6,100	600
営業利益	180	180	0
経常利益	170	160	△10
当期純利益	80	80	0

来期以降

- －競争力のある米国、カナダ、ロシア、モザンビーク等の新規LNG案件の受注獲得にむけて営業展開。
- －LNGはコスト削減要求や各地域の施工に対し、様々な技術ラインナップで応える。

今後の経営について(2/2)

事業ポートフォリオの拡大と多様化に挑み続ける

(1) 事業分野の拡大

- －米国の石油化学などダウンストリーム分野
- －銅精錬や非鉄金属などの資源分野

<将来のビジネスにつながる分野>

- －医薬・ライフサイエンス分野
- －水素など再生可能エネルギー等

(2) 新しい取り組み:技術のさらなる収益化

- －人工知能AIを活用したオペレーションサービスやアセット・バリュー向上策

(3) グループ連結の強化

- －東南アジア、中東の地場案件への対応。LNGで進出した地域にて他分野展開。

おわりに

今回の損失の発生と業績の下方修正に関して、株主、投資家をはじめとする全てのステークホルダーの皆様のご期待に背く結果となりましたことに心よりお詫び申し上げます。

千代田グループは一丸となってマネジメントを強化し、収益と信頼の回復をもって、お客様や株主の期待に応えてまいる所存ですので、皆様のご理解と引き続きのご支援をお願い申し上げます。

【お問い合わせ先】

千代田化工建設株式会社

IR・広報・CSR セクション SL 塚本 朋之

〒220-8765 横浜市西区みなとみらい四丁目6番2号
みなとみらいグランドセントラルタワー

TEL. 045-225-7734 FAX. 045-225-4962

URL <https://www.chiyoda-corp.com/contact/index.php>

この資料には、2017年2月9日現在の将来に関する見通しおよび計画に基づく予測が含まれています。
経済情勢の変動等に伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があります。